

新TeamJBA概要



Ver.1
2018年3月1日

＜共通＞

- システム変更の目的
- 導入（移行）スケジュール
- システム利用範囲、管理者の変更
- 主な機能
- メンバーID取得の必須化・ID運用方針の変更
- ID統合
- ID体系（メンバーID・チームID）
- ID取得方法
- ログイン認証機能
- 決済方法
- 発送・発行物

＜チーム・競技者＞

- 登録手続きのポイント
- チーム登録後に出来ること
- 〈参考〉 枠組みの変更
- 〈参考〉 チーム・競技者区分、登録料体系
- 〈参考〉 Bリーグ・U15チーム設置に関する移行措置

＜審判・コーチ＞

- ライセンス管理（審判、コーチ）
- 講習会～ライセンス管理（新規・昇格）
- 講習会～ライセンス管理（更新）



共通

2018年度からの新たな登録制度体系への対応



連盟枠ではなく、年代別カテゴリーを基準にした登録制度への変更

システムの汎用性・利便性の向上
(現行課題の解決)



地区・市区町村レベルまで管理できる枠組みの設定等

新たな付加価値の提供



記録システム(試合結果・スタッツ情報)との連携による個人記録の蓄積

バスケットボールファミリーの一元管理と拡大



B.LEAGUE会員情報との連携、個人登録の推進によるマーケティング基盤の構築→市場の活性化



JBSミッション

3-3 情報戦略の設計・推進

4-1 競技者・エンジョイ・3x3人口の拡充

4-2 人材の養成

導入（移行）スケジュール



- 現行システムでの登録は2018年2月28日（水）で受付を締め切り、2018年3月14日（水）より新システムの運用を開始します。
- 現行システムのデータ（2018年2月28時点のデータ）は新システムに移行します。
- URLの変更があります。

現行TeamJBA	team-jba.jp
新TeamJBA	teamjba.jp（ハイフンなし）
- 現行システムは2018年3月31日（土）まで情報の閲覧が可能です。（2018年4月以降はご利用いただけません。）

システム利用範囲、管理者の変更

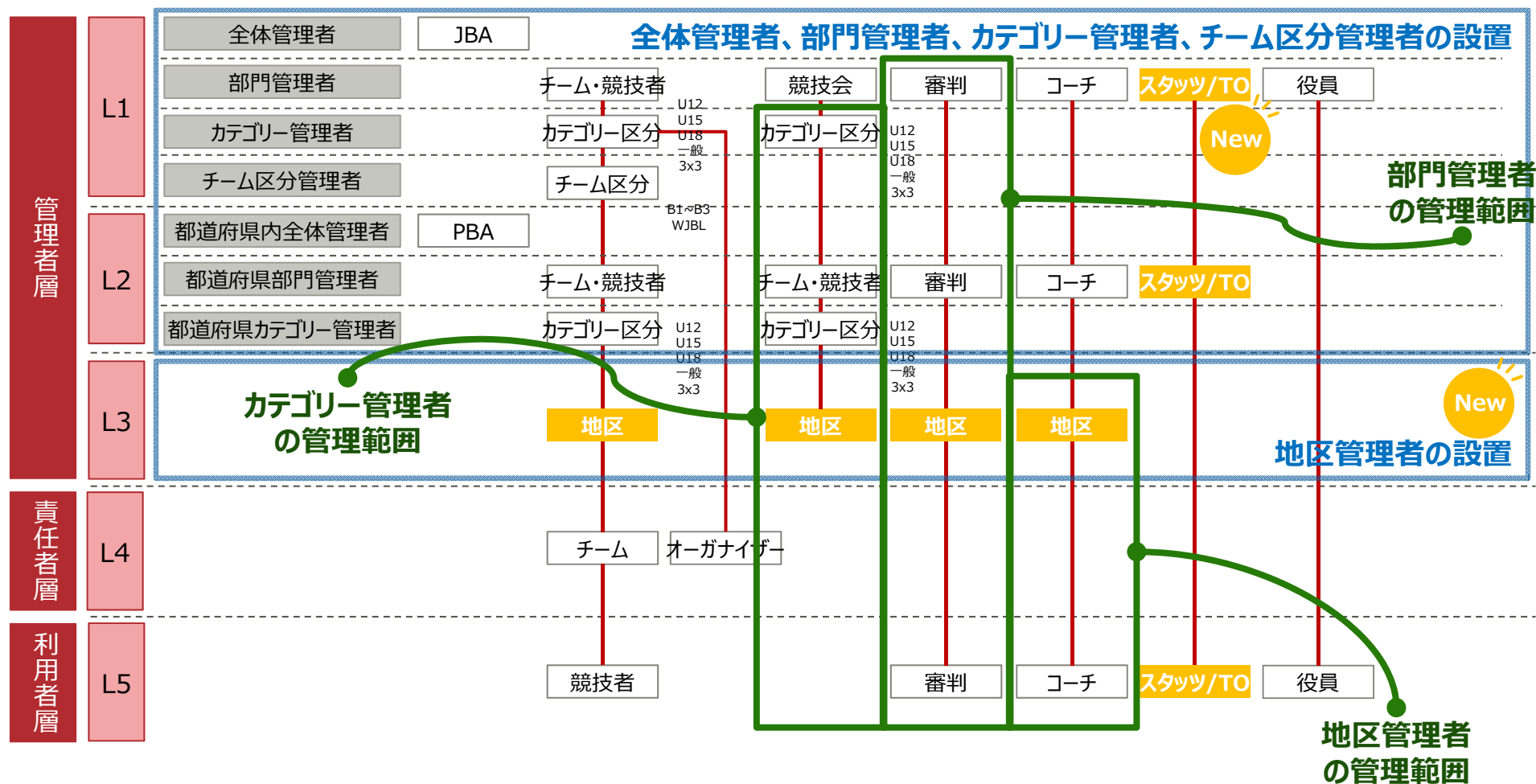
■ 登録制度改定に伴い、部門、カテゴリ、チーム区分管理者を設置します。また、地区レベルの大会や講習会の開催にも対応できるように、地区管理者を設置します。また、スタッツ/TOのライセンス化(将来)を見据え、スタッツ/TO部門を設置します。

■ 部門、カテゴリ、チーム区分管理者は自身の配下の情報のみ管理可能とします。

※チーム競技者部門 : チーム、競技者の加入申請を管理する部門

※競技会部門 : 大会の登録、申込を管理する部門

※審判部門、コーチ部門、スタッツ/TO部門 : 各ライセンスの講習会開催、ライセンス管理を行う部門(講習会～ライセンス取得までを自動化します)



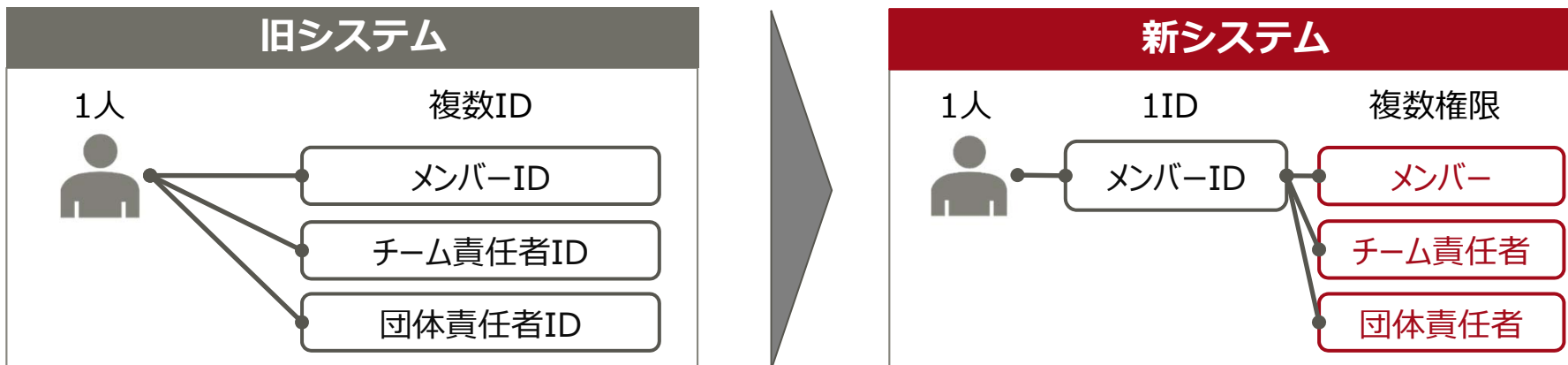
- 新システムで利用可能な主な機能は以下の通りです。
- 新システムは**スマートフォンでもご利用いただけます**。ただし、一部の機能はスマートフォンではご利用いただけません。
- システムの操作方法は「システム操作マニュアル」をご確認ください。

主な機能一覧

- ・チーム、競技者の登録・管理 (★)
 - ・3x3競技者の登録・管理 (★)
 - ・審判ライセンス/コーチライセンス取得者の登録・管理 (★)
 - ・登録料の支払い・入金管理 (★)
 - ・PDF登録証の出力 (競技者・審判・コーチ)
 - ・大会申込
 - ・講習会/研修会申込・受講結果管理
 - ・大会参加料、受講料の支払い・入金管理
 - ・各種領収書の出力
 - ・各種送付物の再発送、再発行申請
 - ・お気に入りチームの登録 (Bリーグ、B3リーグ、Wリーグ)
 - ・SNS連携
 - ・メール送信 (管理者のみ)
- (★) TeamJBAでの手続きが必須のもの

メンバーID取得の必須化・ID運用方針の変更

- 全ての利用者は**メンバーID**の取得が**必須**になります。(ID取得は無料です。)
- 「ID忘却の減少」や「個人データの統合管理」の観点より、新システムでは、**1人1ID**の登録運用を行います。



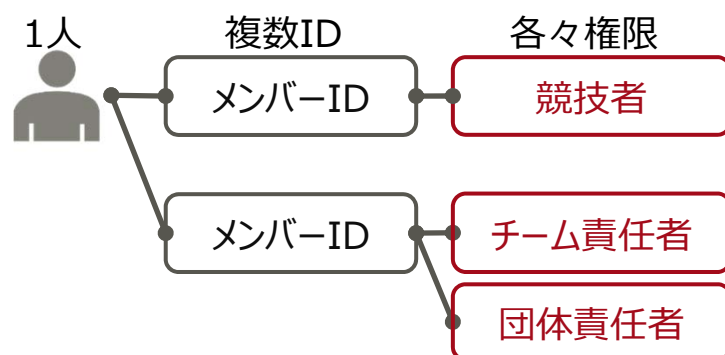
1人	1ID	初期権限		L1~L3系権限		L4系権限		複数権限			L5系権限	
		メンバー	団体管理者	チーム責任者	オーガナイザー	競技者	審判	コーチ	スタッフ/TO	役員		
	メンバーID	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
JBA太郎	00001234	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
JBA花子	00005678	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
JBA次郎	00009999	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

1人に対して複数のレイヤーをまたがる権限が付与されている場合、管理者用と個人用でメールアドレスを使い分ける（複数登録する）ことも可能です

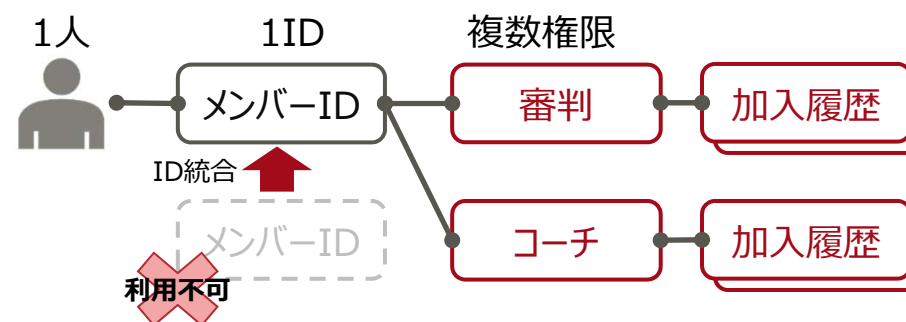
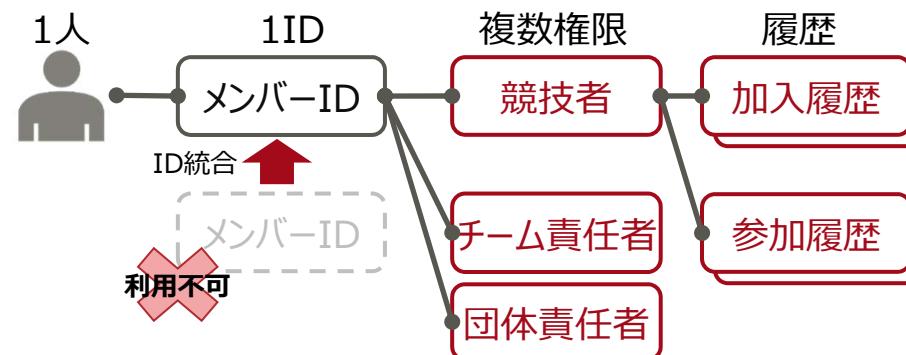
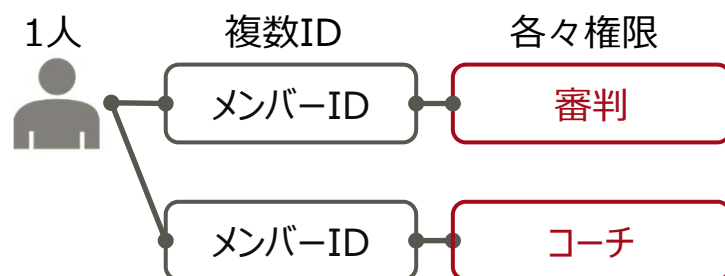
- ID忘却後メンバーIDを再取得するなどしてメンバーIDを二重発行してしまった際、メンバーIDの統合を行うことが可能です。
- メンバーIDの統合を行うことで、加入履歴情報や大会・講習会の参加履歴情報を統合先のメンバーIDに繋げることができます。

新システム

ケース① 利用者層IDと管理者層IDを別々に発行

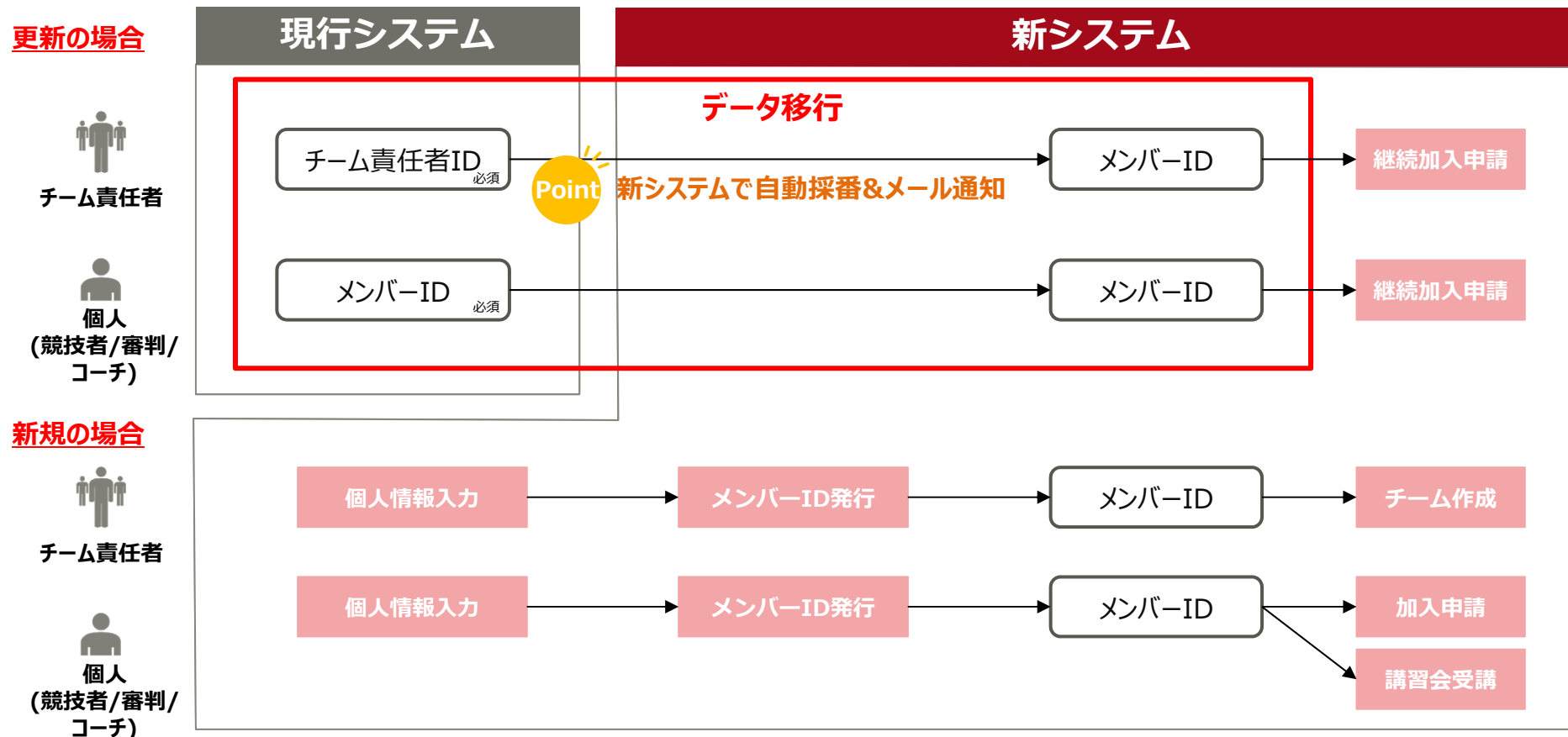


ケース② 利用者層IDを別々に発行



ID取得方法

- 旧システムでチーム責任者だった利用者は、責任者情報を新システムに移行し、新システム側で新規メンバーIDを自動発行し、メールで通知します。
- 新規にチームを登録する場合は、新規メンバーID取得後に、**チームの新規登録**をすることでチーム責任者となります。
- その他の個人利用者は自身で新規メンバーID取得を行うことで、新システムを利用することができます。



- SNSアカウント等外部サービスでの新規登録、ログインが可能な仕組みとし、利便性の向上を図ります。

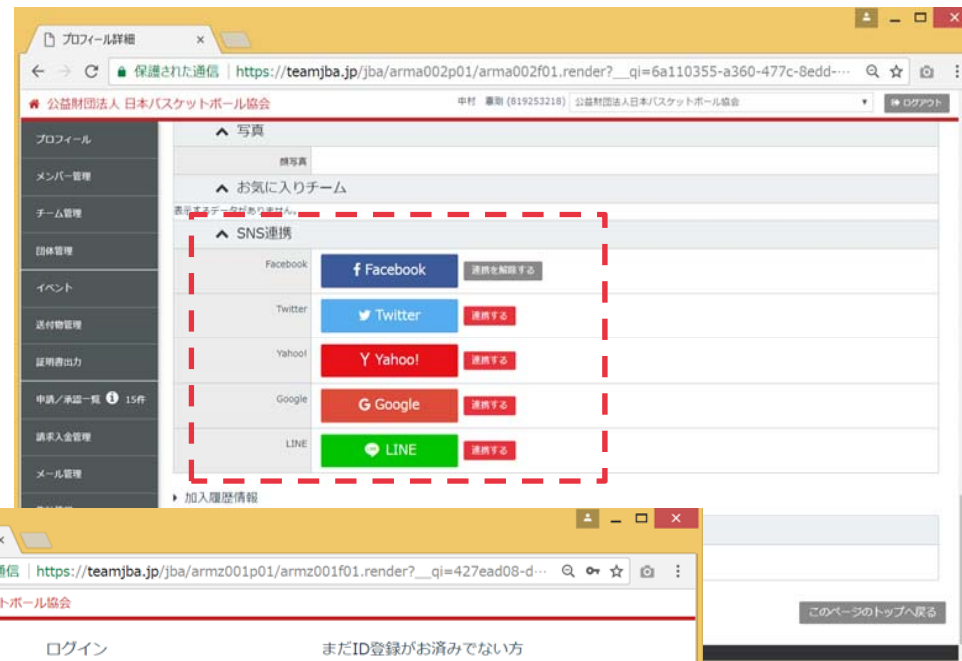
新規メンバー登録-SNSアカウントによる認証



(↑) ※Twitter,LINEはメールアドレスの連携が出来ないため新規メンバー登録時には利用できません。

ログイン画面-SNSアカウントによるログイン

プロフィール詳細画面-SNSアカウントとの紐付け



決済方法

■ 主な変更点

- 支払方法に**クレジットカード支払い**が追加となります。※**チーム一括支払いは対象外**となります。
- コンビニ支払いに**セブンイレブン**が追加となります。
- **支払期限は原則1週間内**となります。(大会等で別途締切がある場合を除く)
- **システム利用料として、268円(税込)が発生**します。

■ 変更前フロー図 凡例： → …お金の流れ



■ 変更後フロー図 凡例： → …お金の流れ | - - - - - …変更点



■ 登録者への発送・発行物一覧

- ・各種送付物はクロネコDM便での発送となります。
- ・登録証（カード）、ワッペン、ネックストラップの再発送、再発行はTeamJBAマイページより受け付けます。

発送区分	対象者	登録証（カード） 発送対象	PDF登録証 発行対象	TIPOFF （情報誌）	その他送付物	
チーム単位	責任者	○ ※1	×	○	—	
	コーチ	×	×	×	—	
	帯同審判	×	×	×	—	
	チームスタッフ	×	×	×	—	
	競技者	○ ※1	○	○	—	
個人単位	3x3競技者	×	○	×	—	
	審判	S～D級	○	○	○	ワッペン ※2
		E級（2018年度以降の登録者）	○	○	○	ワッペン ※2
		E級（2017年度までの登録者）	×	○	×	—
	コーチ	S～D級	○	○	○	ネックストラップ ※3
		E-1・E-2級	×	○	○	ネックストラップ ※4
	役員	JBA役員	○	○	○	—

※1：これまで同様、前年度と同一チームに継続登録した場合には登録証に貼り付けるシールが発行されます。

※2：新規または昇格時に登録証と同時に送付されます。

※3：新規登録時のみ登録証と同時に送付されます。

※4：新規登録時のみ送付されます。

チーム・競技者登録

登録方法

- ・ U12・U15カテゴリーにおいては、チーム責任者が競技者の一括登録を行うことが可能です。
- ・ U18・一般カテゴリーにおいては、IDの本人管理を推進していくために、**本人登録が必須**になります。

カテゴリー区分・チーム区分・都道府県・地区の選択

- ・ 旧システムでの「加入コード」はなくなります。
- ・ チーム登録時には、**カテゴリー区分・チーム区分・都道府県・地区を選択**してください。
(選択する地区が不明の場合は、所属する都道府県にご確認ください。)

支払方法選択

- ・ チーム加盟料、競技者登録料の支払方法は「チーム一括支払い」と「個人支払い」があります。
「**チーム一括支払い**」：チーム加盟料、競技者登録料とも**チーム責任者が支払い**
「**個人支払い**」：チーム加盟料は**チーム責任者が支払い**、競技者登録料は**競技者本人が支払い**
※U18、一般カテゴリーはいずれかの選択が可能です。
※U12、U15カテゴリーは「チーム一括支払い」のみ可能です。

登録情報

- ・前年度登録チームは前年度の登録情報をもとに登録手続きが行えます。
ただし、前年度、小学校6年生、中学3年生、高校3年生の競技者は継続の対象外となっています。
- ・チームには**コーチと帯同審判を最低1名ずつ登録する**必要があります。
ライセンスをお持ちでないコーチ、審判を登録することも可能ですが、大会参加時には、各大会で定められたライセンスコーチ、帯同審判の登録が必要になります。
- ・コーチ、帯同審判の他、チームスタッフも登録することができます。（チームスタッフの登録は任意）
- ・チームに登録するコーチ、帯同審判、チームスタッフも事前にメンバーIDを取得する必要があります。
- ・コーチ、帯同審判、チームスタッフを登録した場合、登録証は発行対象外になりますが、メンバー表には出力されます。また、システムを利用した大会エントリー時にはスムーズにスタッフの登録が出来ます。

〈参考〉JBA基本規程 第68条〔加盟チームの権利および義務〕

- ④加盟チームは、原則として、本協会が定める指導者資格を有する16歳以上の者（所属する連盟で規定されている場合を除く）を、自己のチームに所属する指導者として、1名以上登録しなければならない。
- ⑤加盟チームは、原則として、本協会が定める審判資格を有する者を、自己のチームに所属する審判員として、1名以上登録しなければならない。

所属団体による承認

- ・所属団体によって、チーム登録時の承認の有無が設定されています。
- ・承認必要となっている場合には、登録申請後に申請先団体から承認がおりるまでお待ちください。
- ・承認後にお支払いの手続きが可能になります。

登録情報の変更（競技者追加、連絡先変更）

- ・チームの情報はいつでも編集可能です。
- ・チームの責任者や連絡先に変更がある場合には必ず変更を行ってください。（メールや配送物が届かなくなります。）
- ・競技者の追加も随時可能です。ただし、所属団体によって、登録の期限が定められている場合には所属団体の指示に従ってください。

PDF競技者登録証・メンバー表の出力

- ・チーム登録後、PDF競技者登録証の出力が出来ます。
登録証（カード）がお手元に届くまでの間や登録証（カード）を紛失した場合にはPDF登録証をご利用ください。
競技者の顔写真を登録した場合、顔写真入りのPDF登録証が出力できます。
※チーム責任者、コーチ、帯同審判、チーフスタッフは発行対象外です。
- ・チーム情報、競技者情報を一覧化したメンバー表も出力可能です。

PDF領収書の出力

- ・チーム加盟料、競技者登録料のお支払い後、PDF登録証を出力することが出来ます。
- ・領収書の宛名は任意で設定することが可能です。
※領収日の変更はできません。

大会へのエントリー

- ・システム上で設定された大会へのエントリー手続きが可能です。
- ・登録された競技者、コーチ、帯同審判、チームスタッフ情報を利用してエントリー手続きを行うことが出来ます。

発送状況の確認・再発送/再発行申請

- ・競技者登録証（カード）の発送状況、履歴の確認が出来ます。
 - ・競技者登録証（カード）の再発送、再発行申請が行えます。
- なお、住所の不備による再発送、登録情報の誤り（氏名の誤りなど）による再発行は有料となります。

〈参考〉 枠組みの変更

現行

ミニ	中学校 (部活)	高校 (部活)	高専	大学 (体育会)	専門学校
実業団	クラブ	教員	ママさん	Bクラブ	WJBL

- ・ チーム種別によって登録が個別に管理されている。
- ・ 規定の枠外のチームが登録する枠組みがない。
- ・ 各連盟ごとに登録料が設定され、金額に大きな差がある。

2018年度～

(カテゴリー区分)

(チーム区分)

U12	クラブ				
U15	中学校 (部活)	クラブ	Bユース		
U18	高校 (部活)	高専	クラブ	Bユース	
一般	地域	オープン	エンジョイ	オーバー エイジ40	オーバー エイジ50
	大学 (体育会)	専門学校	Bクラブ	WJBL	
障がい者	車椅子	車椅子 ツイン	デフ	FID	

- ・ 登録の枠はカテゴリーごとの大きな枠組みとする。

(従来の連盟単位の登録は撤廃 = 連盟単位での登録料徴収は廃止)

- ・ チーム区分を設け、競技会によっては該当のチーム区分のチームのみ参加可能とする。

(例) IH : 高校(部活)チームのみ

- ・ 都道府県内に登録管理部門とカテゴリー区分ごとに担当を設置する。

- ・ 障がい者の登録管理も可能とする。

〈参考〉チーム・競技者区分、登録料体系

チーム・競技者の登録区分（2018年度～）

カテゴリー	チーム区分	チーム 詳細区分	選手年齢 区分	年齢（4/1現在）		チーム加盟料(円)		競技者登録料(円)		備考	
				下限	上限	JBA	PBA(上限)	JBA	PBA(上限)		
U12	クラブ	—	9歳以下	設定なし	8歳	2,000	1,000	0	400		
			10歳以上	9歳	11歳			800	400		
U15	中学校（部活動）	—	—	12歳	設定なし	5,000	2,500	1,000	500		
	クラブ	—	—	10歳	14歳						
	Bユース	—	—	10歳	14歳						
U18	高校（部活動）	全日制	—	15歳（※1）	設定なし	8,000	4,000	1,000	500		
		定通制	—	15歳（※1）	設定なし						
	高等専門学校	—	—	15歳（※2）	設定なし						
	クラブ	—	—	12歳	17歳						
	Bユース	—	—	12歳	17歳						
一般	地域	—	—	15歳	設定なし	20,000	10,000	2,000	1,000		
	オープン	—	—	15歳	設定なし						
	エンジョイ	—	—	15歳	設定なし						
	オーバーエイジ40	—	—	15歳（※3）	設定なし						
	オーバーエイジ50	—	—	49歳	設定なし						
	大学	—	—	18歳	設定なし						
	専門学校	—	—	18歳	設定なし						
	Bクラブ	B1	—	—	設定なし						設定なし
		B2	—	—	設定なし						設定なし
		B3	—	—	設定なし						設定なし
	WJBL	—	—	15歳	設定なし						
障がい者	車椅子	—	—			0	0	0	0	各連盟の登録料の設定あり	
	車椅子ツイン	—	—							各連盟の登録料の設定あり	
	デフ	—	—							各連盟の登録料の設定あり	
	FID	—	—							各連盟の登録料の設定あり	
3x3	—	—	—		—	—	0	0			

（※1）高校：高校に在籍する選手については18歳以上でも登録可

（※2）高専：高等専門学校に在籍する選手については18歳以上でも登録可。

（※3）オーバーエイジ40：年齢下限は原則39歳（4/1現在）だが、39歳以下も5名以内に限り、登録可能とする。

但し、39歳以下は「オーバーエイジ40」の全国大会（予選含む）には出場できない。（大会エントリー時に制限）

〈参考〉BリーグU15チーム設置に関する移行措置

- Bリーグでは「世界に通用する選手の輩出」を達成するために、2018年度よりB1クラブライセンスの条件として、U15チーム（男子のみ）の保有が義務化されます。
- 競技者登録のルールでは、競技者が2つ以上のチームに登録することは禁止されていますが、現状の中学生世代の活動は中学（部活）がメインであることから、下記の通り移行措置が定められました。

【2018年度～2020年度（3年間）の移行措置】

※JBA基本規程102条

BクラブのU15チームの選手については、2018年度～2020年度の3年間に限り、「BRING UP PLAYER」として、「BクラブU15チーム」と「中学（部活）**または**クラブ」の2チームへの所属を可とする。なお、当然のことながら、選手自身が「Bクラブ・U15チーム」の1チームのみを選択することは認められる。

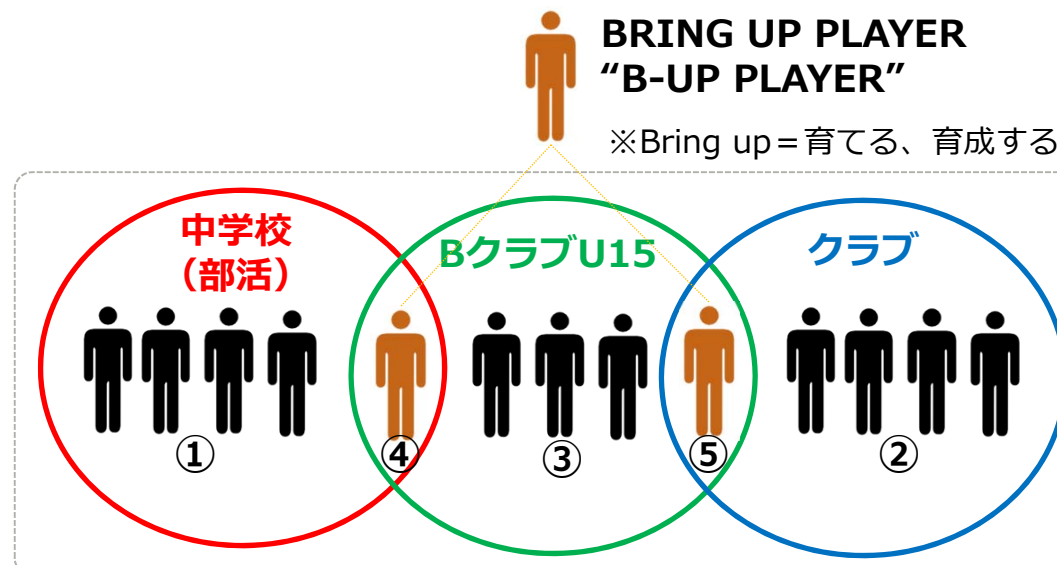
- *補足*
- ・「Bクラブ・U15チーム」以外のチームへの複数所属は認めない。（中学とクラブはNG）
 - ・1つの競技会に対しては、2チームからエントリーすることは認めない。
 - ・3年間の移行措置後は、「Bクラブ・U15チーム」と他チームとの複数所属は不可とする。

Team JBA登録ケース

①～⑤の5つのケースが存在する





※2018年4月から2021年3月までの期間に限る

- ① 中学校部活のみ
- ② クラブのみ
- ③ BクラブU15のみ
- ④ 中学部活 + BクラブU15
- ⑤ クラブ + BクラブU15



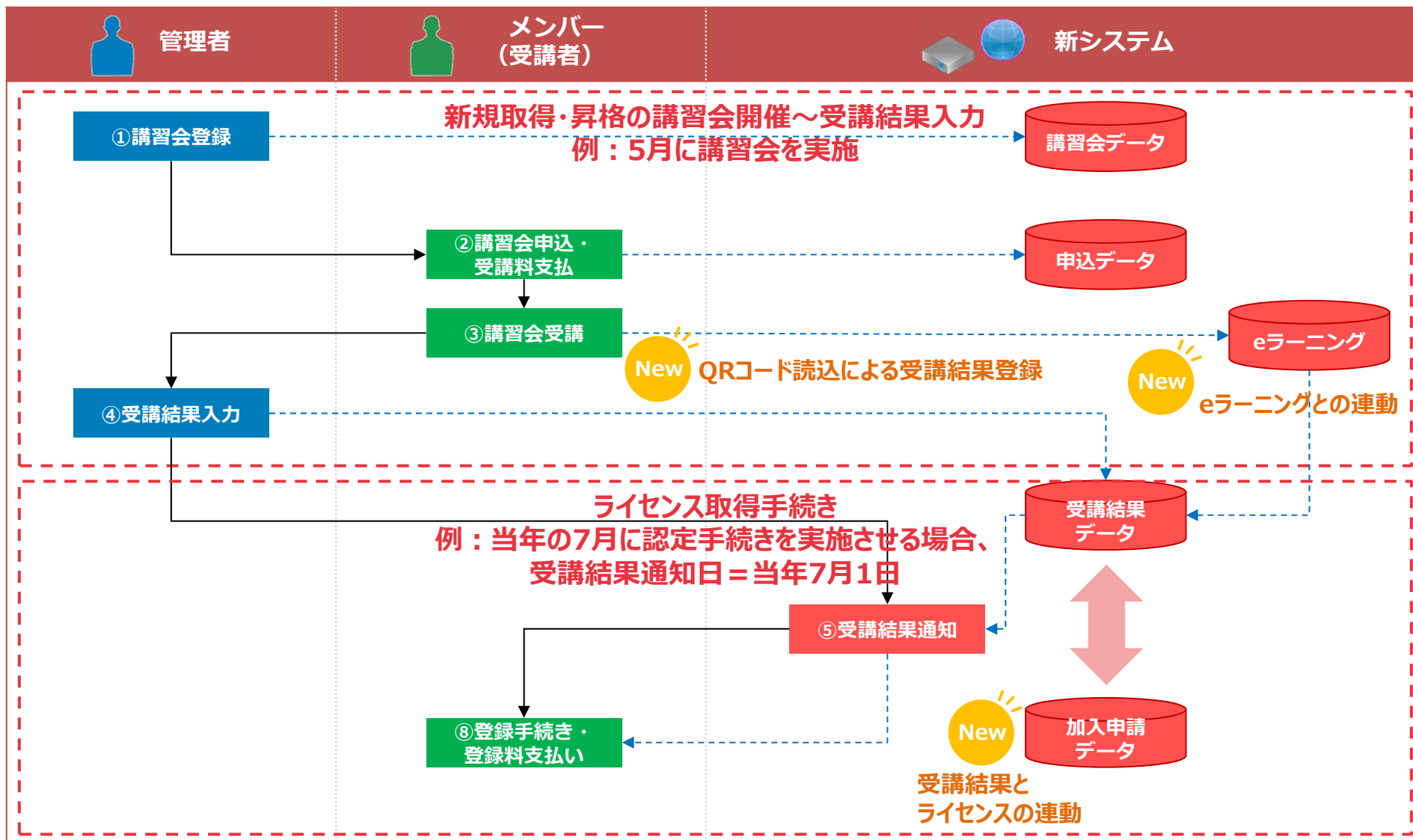
U15カテゴリーにおける同一年度内の移籍ルール・手続き方法は別途定める。

審判・コーチ登録

-  現行システムでは、講習会・研修会と登録管理がリンクしていませんでしたが、新システムでは講習会・研修会の受講申込～ライセンスの登録・更新を一本化します。
2018年度以降の審判およびコーチライセンス取得に関わる全ての講習会・研修会は必ずTeamJBAにて受講管理（受講申込受付、受講実績入力）を行います。
-  新システム移行時の登録手続き（2017年度受講者の新規登録・2018年度の更新登録）においては、別途手続きが必要になります。
-  新システムでは誰でもメンバーIDの取得が可能になるため、旧システムの「エントリー資格」「受講資格」の扱いはなくなります。
旧システムで「エントリー資格」「受講資格」のメンバーはライセンス等のない「メンバー」の扱いになります。（メンバーIDは引き続きご利用いただけます。）
-  2018年度よりコーチライセンスの登録管理窓口をTeamJBAに一本化するため、日体協への登録手続きは不要になります。

講習会～ライセンス管理（新規・昇格）

- 旧システムでは講習会・研修会、ライセンス（登録承認）をそれぞれ別に管理する必要がありましたが、新システムでは、講習会・研修会の受講申込・受講結果～ライセンスの登録・更新を一本化します。



講習会～ライセンス管理（更新）

- 旧システムでは講習会・研修会、ライセンス（登録承認）をそれぞれ別に管理する必要がありましたが、新システムでは、講習会・研修会の受講申込・受講結果～ライセンスの登録・更新を一本化します。

